

オマルペ・ソマナンダ師が着任されました



10月3日早朝、スリランカ・コロンボから成田空港に降り立ったオマルペ・ソマナンダ師 (Ven. Omalpe Somananda)のもとに、スリランカ人と思しき女の子が走り寄り、また周囲のスリランカ人たちも尊敬のまなざしを向け、足に口づけご挨拶という光景...迎えた日本人研究員には新鮮に映ったようです。

第4期VRソマナンダ師は、スリランカの国立大学のひとつ、スリランカ佛教パーリ語大学仏教文化学部上級講師で、研究テーマは「仏教ソーシャルワーク教育開発のための仏教教義の適用可能性に関する分析調査(原題: An analytical study on applicability of teachings in Buddhism for the development of Buddhist Social Work education)」です。ソマナンダ師はインドでソーシャルワークの修士号を取得、18年間ソーシャルワーカーとして活動された後にソーシャルワーク専門職教育機関であるスリランカ国立社会開発大学(NISD)で教鞭をとっておられました。「スリランカの社会には西欧生まれのソーシャルワークの教育では通用しないことがある。仏教の経典を研究し、スリランカ社会に合う教育を構築したい」と話しています。淑徳大学千葉キャンパス1号館3階の研究室(301-B)をベースに活動されます。どうぞよろしくお願いいたします。

◆アジア国際社会福祉研究所のニュースがSナビにて月1回程度配布されております。